

一般社団法人日本宇宙生物科学会賛助会員ご入会のお願い

平素より日本宇宙生物科学会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学会は1987年に設立され、宇宙環境を利用することで宇宙的な視野で生命現象を理解に繋がる宇宙生物科学及びそれに関連する分野の学術研究を振興すると共に、会員相互及び国際的な連絡を図るという目的に全力で様々な活動を行ってきました。これまでに、スペースシャトル、ミール、国際宇宙ステーション（ISS）「きぼう」実験棟等の活用により、新規性に富み真に学際的な学問分野である宇宙生物科学の確立と振興に大きく寄与してきました。2030年まで運用延期されたISS、ポストISSとして民間のステーションや月周回ゲートウェイなども計画されており、宇宙での実験機会も益々多くなることが期待できます。さらに、月・火星の有人探査時代を意識して、他のいくつかの学協会と協力して、「宇宙惑星居住科学連合」を結成しました。本学会では、このような活動を通して、長期的な視野に立って人類の将来を支える宇宙生物科学のさらなる発展を図って行きたいと考えております。

本学会は、会員の負担する年会費に基づいて運営されています。しかしながら、上記のような新たな目標をめざしてさらなる活動を展開するためには、会員年会費だけでは運営が困難なのが実情です。この度、本学会の目的をご理解いただき、その活動を援助してくださる法人および団体を賛助会員として募集させていただきます。この機会に是非ともご検討賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2025年9月

一般社団法人日本宇宙生物科学会

理事長 高橋 昭久



記

一般社団法人日本宇宙生物科学会賛助会員

年会費 1口 30,000円 (1口以上)

*別紙申込書にご記入の上、メール（添付資料）で後述の申込先まで

ご送付ください。受領後、事務局より請求書をお送りいたしますので、到着後、払込手続きをお願いいたします。

一般社団法人日本宇宙生物科学会の概要

1. 名称

和文名：一般社団法人日本宇宙生物科学会

英文名：The Japanese Society for Biological Sciences in Space

2. 目的

現代自然科学の発展は、人類の宇宙観、生命観を大きく変えつつある。また、技術の発達によって、人類の活動の場は宇宙空間へと広がりつつある。宇宙生物科学は、このようなかつてない状況の下で生まれた新しい科学の分野であり、生物科学の諸分野と密接にかかわる多彩かつ重要な領域を包括するものである。一般社団法人日本宇宙生物科学会は宇宙生物科学及びそれに関連する分野の学術研究を振興すると共に、会員相互及び国際的な連絡を計ることを目的として設立された。学術集会の定期的な開催や研究結果の刊行等の活動を通じて、この目的を達成しようとするものである。

3. 学会誌

Biological Sciences in Space (J-STAGE での掲載)

4. 理事・役員

(2025 年 9 月 13 日から 2027 年次期役員選任まで)

理事長

高橋昭久 (群馬大学)

副理事長

日出間純 (千葉大学)

清水美穂 (帝京大学)

東谷篤志 (東北大学)

庶務幹事

吉田由香里 (群馬大学)

監事

久米 篤 (九州大学)

鈴木信雄 (金沢大学)

理事

唐原一郎 (富山大学)

清水美穂 (帝京大学)

曾我康一 (大阪公立大学)

園下将大 (北海道大学)

高橋昭久 (群馬大学)

田中邦彦 (岐阜医療大学)

玉置大介 (富山大学)

茶谷昌宏 (昭和医科大学)

鶴岡千鶴 (量研)

寺田昌弘 (京都大学)

東谷篤志 (東北大学)

東端 晃 (JAXA)

日出間純 (千葉大学)

藤田知道 (北海道大学)

村谷匡史 (筑波大学)

吉田由香里 (群馬大学)

顧問

北宅善昭 (大阪公立大学)

小林憲正 (横浜国立大学)

高橋秀幸 (千葉大学)

横谷香織 (筑波大)

5. 事務局

一般社団法人日本宇宙生物科学会事務局

E-mail : jsbss-office★spacebio.sakura.ne.jp

※メール送信の際は、★を@に変更してください

6. 賛助会員年会費振込先

◆ゆうちょ銀行 口座記号番号 00180 - 0 - 138910

加入者名：一般社団法人日本宇宙生物科学会

7. 賛助会員入会申込先

上記事務局宛に送付ください